

Active School Kai Project 令和5年度プロジェクト計画書（報告書）

学校番号	32	学校名	都留高校		
全・定・通	定	学年	2	在籍生徒数	1名
教育目標 (学力に関するもの)	基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。				
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 仲間を大切にし、相手を思いやることのできる生徒。 主体的、創造的に考え行動できる生徒。 社会生活で基盤となる広い教養と知識を身に着けようとする生徒。 				

各教科の取組		中間評価	年度末評価	次年度への課題
教科	身に付けさせたい資質・能力			
国語	実社会に貢献するために必要な知識及び技能	4	4	漢字検定や「学びの基礎診断」としての文章検定に入学期順調に合格してきたので、更に上の級への挑戦を促す。
	実社会で問題を解決するために求められる創造的な思考力、判断力、表現力	4	4	授業を通して課題解決のためのヒントを得ながら、社会で生きていく上で有効な思考力、判断力、表現力を更に磨く。
	主体的に学びに向かう力及び自己肯定感を持ち他者と協働できる人間性	4	4	わからないことがあるとBYODを積極的に使って知識を深め自己肯定感を高めてきたので、他者との協働の機会を更に増やしたい。
地公	様々な地球的課題の解決に向けて、多角的の考察できる能力	4	4	具体的な課題とその解決法について、自らの調べ学習や担当教諭との討論等とおしてし考察能力育めるような授業づくりをしたい。
	地域ごとに異なる文化を尊重しながら、国際理解を深めることができる思考力	4	4	民族・宗教・その他社会的諸問題の事例検討等を通じて判断力や自ら考え行動できるための力を養いたい。
	地理的な見方・考え方や地図に関する技能	4	4	地域における具体的に地図等を用いてのフィールドワークや旅行計画書の作成などにも取り組んでみたい。
数学	分数の割り算など複雑な計算ができる基本的な知識・技能	4	4	基本的なところはできるようになったが、いまだにミスが多くみられる。注意深く観察しながらミスを減らすように指導していきたい。
	数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	4	4	BYODなどを使い、視覚的に関数をとらえることができた。次年度の1年次にも使っていきたい。
	粘り強く課題に取り組もうとする態度	4	5	ついつい解答に目が行きがちだったところが、徐々にではあるが自分の解答までたどり着いてから、答え合わせができるようになってきた。
理科				
英語	英語の働きの理解を深め、実際のコミュニケーションで適切に活用できる技能	4	4	基礎力が定着できるよう、同じ英文を繰り返し音読するなど、振り返り・繰り返しが何よりも重要である。
	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	4	4	簡単なスピーチをいくつか作成させて、発表させるなど工夫したが、社会的な話題については困難であることが分かった。
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	3	3	異文化に興味・関心を持つことが大切で、教科書の内容を踏まえながら、異文化理解につなげていくことが大切である。
芸術	古典の書体、書風に関する知識	5	5	古代における文字を理解し、今までと異なる書体の用筆、運筆の技法を習得させていきたい。
	線質、字形、構成を生かして表現する能力	5	5	古典の臨書を通して点画、線質、字形などの技法を身に着け、表現を構想し、工夫することができるようにしたい。
	書道に興味・関心を持ち主体的、創造的に学ぼうとする態度	5	5	古典の用筆、運筆を主体的、意欲的に学ぼうとする姿勢を持たせていきたい。
家庭	生活を主体的に営むために求められる知識及び技能	4	4	生活者として自立、自律していくための知識・技術を実生活を生かせるように具体的に指導していく。
	実験・実習等を発展させ実践的な活動を家庭や地域で行うことができる能力	4	4	今年度の出席率は100%だったが、来年度は欠席の多い生徒の指導をどのようにしていくかが、今後の課題となる。
	生活の営みについて課題を見つけ主体的に改善を図ろうとする態度	4	4	自主的に行動できるように、SEE→PLAN→DO→SEEの活動輪を意識させる。
保健	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	4	4	運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身に付けるようにする。
	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	4	4	合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。
	明るく豊かで活力ある生活を営む態度	4	4	運動に親しみとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度。

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報	情報化社会に必要な知識、技術を身に着ける能力	4	5	知識とスキルを先行させたので、何のために情報を学び、どう活用し、どのようなことをしてはいけないのかという本質的な内容にあまり触れてこなかった。
	正しい情報を集め整理して、発信できる能力	4	5	ワード、エクセル、パワーポイントなど実用的なソフトの活用に終始した感があるが、体系的な問題解決をまとめる時間が欲しかった。
	情報化社会で臨る可能性がある危険を回避できる能力	4	4	情報の暗号化やメディアリテラシーなど、用語や概念などは学んだが、具体的事案にはあまり触れる時間がなかった。
総探	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	—	5	調査活動を目的や対象に応じた適切さで、生活かつ定期的に実施する。
	テーマの設定し計画を立案する能力。情報を分析する能力	—	5	課題解決に必要な情報を目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積する。
	他者と協働し学び合う態度。社会に参画し理想の実現しようとする態度	—	5	自分の意志で課題に向き合い、自他の良さを認めながら、協働的に課題を解決する。

【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小数点第1位まで）		R5中間	R5年度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた	①強くそう思う、②そう思う		
ノート等で授業の記録をすることができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けすることができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた	①強くそう思う、②そう思う	100.0%	100.0%

保護者アンケート結果(学力に係るもの)
「学習意欲や基礎学力の向上につながるよう授業や教材に工夫がなされている」というアンケート項目については、ほぼ全ての保護者がほぼ達成できていると回答した。また、「成績評価は様々な観点から公正かつ公平に行われている」という項目については、全ての保護者がほぼ達成できていると回答してきた。

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)
概ね高評価であったが、対象生徒が1人だけであり、常に目が行き届く環境にあった。ゆえに、多人数の学年との比較は容易にできない。次年度も更にBYODなどをより一層活用していきたい。